



「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」調査票(案)

資料1-2
平成30年度「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」調査項目等に関する検討会
(第3回)
H30.3.9

【教員用】

平成30年11月1日現在

文部科学省 科学技術・学術政策局

この調査票は、統計以外の目的に使用しませんので、ありのままを記入してください。

記入の際には「調査票の記入の手引き」を参照してください。

※凡例: **入力箇所**

条件付入力箇所

0 回答者ID番号(「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査への御協力のお願」に記載されている9桁の番号を記入してください)			
1 勤務先(本務)の名称	(学校名等)	(学部・学科名等)	
2 平成30年3月31日時点の勤務先(本務) (該当する番号を一つ選択してください。他の大学等の場合、勤務先の名称を記入してください)		1 現在と同じ 2 他の大学等 3 公的機関 4 非営利団体 5 企業 6 外国の機関 7 その他(無職等)	
	(学校名等)	(学部・学科名等)	

質問2の回答が「3~7」の方はここで終了です。ありがとうございました。

以下の質問は、平成30年(2018年)3月31日時点での状況についてです。

3 職名(本務) (該当する番号を一つ選択してください)	1 教授 2 准教授 3 講師 4 助教 5 助手
4 雇用上の職務の範囲 (該当する番号を一つ選択してください) ・実際の活動状況に関わらず、雇用上の職務の範囲に基づいて回答してください。	1 教育と研究の両方が明示的に職務に含まれる 2 原則として教育のみが職務(教育専任教員) 3 原則として研究のみが職務(研究専任教員) 4 教育・研究以外の特定の職務の専任 5 その他
5 本務における任期の有無 (該当する番号を一つ選択してください。「2 任期有り」の場合、任期を年数で記入してください) ・任期については、現に契約している契約の任期(ただし、任期の更新が明確に保証されている場合は、それを含めた任期)を回答してください	1 任期無し(期限を定めない雇用) 2 任期有り(期限を定めた雇用) ↓ [任期(最初の契約時点から任期終了までの期間): 年]
6 雇用形態 (該当する番号を一つ選択してください) ・プロジェクト雇用とは、特定のプロジェクトの経費に基づく雇用のみを指し、運営費交付金等や大学の自己収入に基づく雇用は含みません。	1 科学研究費助成事業によるプロジェクト雇用 2 科学研究費助成事業以外の競争的研究資金によるプロジェクト雇用 3 その他の公的資金によるプロジェクト雇用 4 その他のプロジェクト雇用 5 いずれにも該当しない
7 兼務の状況 (該当する番号の左側に○を記入してください。「2~6」については複数回答可)	1 学外での兼務無し 2 他の大学等の職務を兼務 3 公的機関の職務を兼務 4 非営利団体の職務を兼務 5 企業の職務を兼務 6 外国の機関の職務を兼務
8 職歴 (現職(2013年3月31日時点)も含め、今までに勤務した本務機関数を記入してください) (複数回答可)	1 大学等 機関 2 公的機関 機関 3 非営利団体 機関 4 企業 機関 (うち外国 機関) (うち外国 機関) (うち外国 機関) (うち外国 機関)
9 国籍 (該当する番号を選択し、外国の場合は国名も記入してください)	1 日本 2 外国 → [(国名)]
10 生年月(西暦で記入してください)	19 年 月
11 性別(該当する番号を一つ選択してください)	1 男性 2 女性
12 最終学位 (該当する番号を一つ選択してください)	1 学士 2 修士 3 博士 4 博士課程満期退学・単位取得退学 5 専門職学位(法務博士・専門職修士) 6 その他 - []
13 あなたの専門分野 (最もあてはまる番号を一つ選択してください)	1 人文科学 2 法学・政治 3 商学・経済 4 その他(2と3以外)の社会科学(社会学を含む) 5 理学(理論系) 6 理学(実験系) 7 工学 8 農学(9および10を除く) 9 農業工学 10 農業経済 11 医学(基礎系・社会系) 12 医学(臨床系) 13 歯学(基礎系・社会系) 14 歯学(臨床系) 15 薬学 16 その他(11~15以外)の保健 17 家政 18 教育 19 芸術 20 その他

以下の質問は、平成29年度(2017年4月1日～2018年3月31日)の状況についてです。

14 平成29年度における区分別の週数及び休日数

(平成29年度の全52週を下記の(a1)、(a2)、(b)の3つの区分に分類し、それぞれの週数及び職務を行わない日数を記入してください。)
 ・職務を行わない日が二週間に3日間ある場合は一週間あたり1.5日として、小数まで記入してください。

(a) 学生の休暇期間以外の期間	左記の期間の週数		合計52週	左記の期間の平均的な一週間で職務を行わない日数(土日等)	
	(a1) あなたが授業を行う期間	週			日
	(a2) あなたが授業を行わない期間	週			日
(b) 学生の休暇期間		週	(残り 52週)		日

15 平成29年度の各期間における職務を行う平均的な1日の時間数

(質問14の各区分における平均的な1日の時間数を記入してください。)
 ・質問14で0週となった期間は空欄にしてください。
 ・活動時間が分単位になる場合は、30分を0.5時間として小数まで記入してください。
 ・教育活動、研究活動、社会サービス活動、その他の職務活動(学内事務等)の総和が同じ日の合計職務時間になるよう記入してください。

(a) 学生の休暇期間以外の期間	左記の期間の平均的な1日における時間数							合計職務時間
	教育活動	研究活動	社会サービス活動			その他の職務活動(学内事務等)	時間	
			教育関連	研究関連	その他(診療活動等)			
(a1) あなたが授業を行う期間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	
(a2) あなたが授業を行わない期間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	
(b) 学生の休暇期間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	

16 平成29年度における個人又は研究代表者として得た研究資金の金額

(該当する番号を選択し、金額を万円単位で、四捨五入して記入してください。)
 ・直接経費のみを記入してください。
 ・複数年にわたる研究資金について、平成29年度の金額が確定していない場合は、その金額を案分して、1年当たりの金額を記入してください。
 ・他機関の研究分担者に研究資金を振り分けている場合は、その資金を除いてください。

(a) 内部資金		1 なし	2 ある	万円
(b) 外部資金		1 なし	2 ある	万円
(c) うち競争的資金		1 なし	2 ある	万円

17 平成29年度の勤務における特殊な状況(該当する番号を一つ選択してください)

- 1 サバティカル研修に従事していた
- 2 病気休暇等、長期の休暇を取得していた
- 3 学長・副学長、学部長・学務部長等、大学の運営に関わる特定の役職に就いていた
- 4 その他の特殊な状況にあった
- 5 特殊な状況にはなかった

18 競争的資金等、外部研究資金の獲得及び獲得後に必要なマネジメント業務

(質問16の各区分における「研究活動」に含まれる時間として記入してください。)

競争的資金等、外部研究資金の獲得のための申請書類作成に費やしている年間の平均的な日数: 日
 その期間における平均的な1日の書類作成時間: 時間
 「研究活動」のうち、研究プロジェクトのマネジメントに費やしている年間の平均的な日数: 日
 その期間における平均的な1日のマネジメントに関する時間: 時間

19 学内会議、委員会への出席、その他学内事務に関する業務

(質問15の各区分における「その他の職務活動」に含まれる時間として記入してください。)

過去1年間に於いて教授会や学内委員会に出席した回数: 回 うち、委員長等の責任を負う立場にある会議の出席回数: 回
 過去1年間に於いて定期試験や入学試験業務に携わった回数: 回

20 過去3年間(平成27年11月1日～平成30年10月31日)における論文成果

(論文の掲載や学会発表が決定した時点の回数を記入してください。)

過去3年間における査読付きの論文数(日本語): 件 過去3年間における査読付きの論文数(外国語): 件

21 平成29年度における出張業務

過去1年間における海外出張の日数:

日

過去1年間における国内出張の日数:

日

22 研究パフォーマンスに関する見解(1)

あなたの研究パフォーマンスを高める上で、以下の4つの要素がどの程度制約になっているか記入してください。(該当する番号を記入してください)

研究人材:

研究時間:

研究活動の質:

研究資金:

1 非常に制約になっている 2 やや制約になっている 3 どちらとも言えない 4 あまり制約になっていない 5 全く制約になっていない

23 研究パフォーマンスに関する見解(2)

質問22の各項目で「1 非常に制約になっている」又は「2 やや制約になっている」を選んだ場合、最も制約になっていると感じているものについて、番号を記入してください。

研究人材:

自由記入欄

1 共同研究者の不足 2 修士課程及び博士課程学生の不足 3 若手研究者(ポスドク)の不足 4 その他(自由記入欄に記入してください)

研究時間:

自由記入欄

1 事務従事者の不足 2 教育専任教員の不足 3 官公庁からの業務(審議会・評価等の委員) 4 官公庁からの調査への回答
5 大学運営業務(教授会・主任会議等への参加及びそれらに伴う業務等) 6 学内事務手続(備品購入手続、施設使用申請、出張手続等)
7 その他(自由記入欄に記入してください)

研究活動の質:

自由記入欄

1 研究施設・機器等の不足 2 研究スペースの不足 3 競争的資金等、外部資金獲得や獲得後の報告等のための事務手続
4 研究プロジェクトにおけるリーダーとしてのマネジメント業務 5 研究補助者・技能者の不足 6 URA等研究支援人材の不足
7 その他(自由記入欄に記入してください)

研究資金:

自由記入欄

1 基盤的経費の不足 2 競争的資金等、外部研究資金の用途が限定されていること 3 競争的資金等、外部研究資金の継続性の無さ
4 その他(自由記入欄に記入してください)

17 研究時間と研究パフォーマンスに関する見解

(「研究時間を増やすために有効だと考えられる手段」及び「研究パフォーマンスを上げるために有効な手段」について、上位2つまで番号を記入してください。)

あなたの研究時間を増やすための有効な手段:

1位

2位

自由記入欄

あなたの研究パフォーマンスを上げるための有効な手段:

1位

2位

自由記入欄

- | | | |
|----------------------------|----------------------|------------------------|
| 1 大学運営業務・学内事務手続の効率化 | 7 外部資金獲得のための事務手続の簡素化 | 13 研究の継続性に配慮した研究資金制度 |
| 2 事務従事者の確保 | 8 共同研究者の確保 | 14 研究開発費の使い勝手の向上 |
| 3 大学間の機能分化による研究機能の強化 | 9 博士課程学生の確保 | 15 研究施設・機器等の共用の促進 |
| 4 教育専任教員の確保による教育活動の負担の低減 | 10 若手研究者(ポスドク等)の確保 | 16 研究スペースの確保 |
| 5 専門人員の配置による社会サービス活動の負担の低減 | 11 研究補助者・技能者の確保 | 17 その他(自由記入欄に記入してください) |
| 6 官公庁等からの業務(評価・調査等)の負担の低減 | 12 リサーチアドミニストレーター確保 | |

本調査にご回答いただきまして、誠にありがとうございました。